

2020年度(2021年3月期)

第1四半期決算説明会

2020年7月29日 [2020年11月5日一部訂正版]





ポイント 減収減益

赤字を2020年11月5日訂正

(+/▲は利益に対する影響を示す, 億円)

売上高	▲ 516	新型コロナ影響等による都市ガス販売量減、原料費調整に伴う都市ガス単価減等。
営業費用	+349	新型コロナ影響等による都市ガス販売量減、原油価格下落の影響等。
営業利益	▲ 166	新型コロナ影響等による都市ガス販売量減、フレーム影響に伴う都市ガス単価差による粗利減等。
特別損益	▲ 47	特別損益は、当期の減損損失の計上により▲47億円。 ※特別損益: 当期 ▲47 : 減損損失▲47 前期 —

(単位: 億円)

		2020年度1Q	2019年度1Q	増減	%
都市ガス販売量 (百万m³, 45MJ)		2,656	3,372	▲ 716	▲21.2%
電力販売量	(百万kWh)	5,231	3,865	1,366	35.3%
内訳	小売 (百万kWh、需要端)	2,148	1,644	504	30.6%
7964	卸他 (百万kWh)	3,083	2,221	862	38.8%
売上高		4,156	4,672	▲ 516	▲ 11.0%
営業費用		3,882	4,231	▲349	▲8.3%
営業利益		274	440	▲ 166	▲ 37.7%
セグメント	利益 (営業利益+持分法損益)	278	457	▲179	▲ 39.2%
経常利益	(1)	280	483	▲203	▲ 42.1%
特別損益		▲47	0	▲ 47	_
親会社株主	に帰属する当期純利益	163	349	▲186	▲ 53.2%
	気温影響 …②	4	1	3	_
補正項目	スライドタイムラグ …③	▲ 75	67	▲ 142	
神工人	(都市ガス+LNG販売)	(▲69+▲6)	(55+12)	(▲124+▲18)	
	年金数理差異償却額 …④	2	▲19	21	
補正経常利	益 …①- (②+③+④)	349	434	▲85	▲19.6%

経済フレーム	2020年度1Q	2019年度1Q
為替レート(¥/\$)	107.64 (▲2.26)	109.90
原油価格(\$/bbl)	32.22 (▲39.25)	71.47
平均気温 (℃)	16.6 (▲0.1)	16.7

年金	2020年度1Q
運用利回り ※コスト控除後	2.13%
期末資産(億円)	2,630

<期待運用収益率:2%>

都市ガス販売量

▲716百万m³ (▲21.2%)の減少

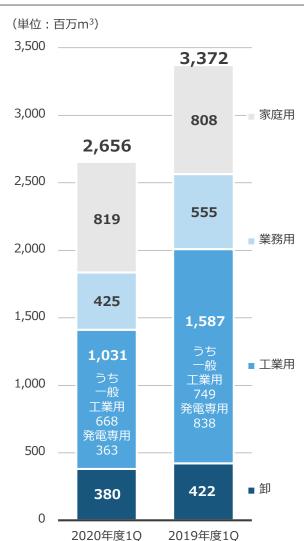
うち気温影響 +7百万m³、+0.2%の増加

家庭用	+11百万m³ (+1.4%)
気温要因	+3百万m³
日数影響	±0百万m³
お客さま件数	▲53百万m ³
その他	+61百万m³

■業務用	▲130百万m³ (▲23.4%)
気温要因	+4百万m³
日数影響	▲2百万m³
お客さま件数	数 ▲8百万m³
その他	▲124百万m³

■工業用	▲ 556百万m³ (▲35.0%)
一般工業用	▲81百万m³
発電専用	▲475百万m³

■卸	▲ 42百万m³ (▲9.9%)
気温要因	±0百万m ³
その他	▲42百万m³ 卸供給先の需要減等



件数、LNG販売量、平均気温

	2020年度 1Q実績	2019年度 1Q実績	増減
小売お客さま件数 (万件) ^{※1}	904.4	960.7	▲ 56.3 (▲ 5.9%)
取付メーター数 (万件) ^{※2}	1,197.5	1,183.8	+13.7 (+1.2%)
LNG販売量 (千t)	221	303	▲ 82 (▲ 27.0%)
平均気温 (℃)	16.6	16.7	▲0.1

※1 ガス小売事業者としてのガス料金請求対象件数(過去の 推移はP.17参照)

※2 休止中・閉栓中・他社小売分を含む導管事業者としての メーター取付数

販売・自家使用量 (百万m3)

	2020年度 1Q実績	2019年度 1Q実績	増減
都市ガス販売量	2,656	3,372	▲ 716 (▲ 21.2%)
トーリングによる ガス自家使用量	669	366	+303 (+83.1%)
LNG販売量 (m³換算)	276	379	▲ 103 (▲ 27.0%)
合計	3,602	4,116	▲ 514 (▲ 12.5%)

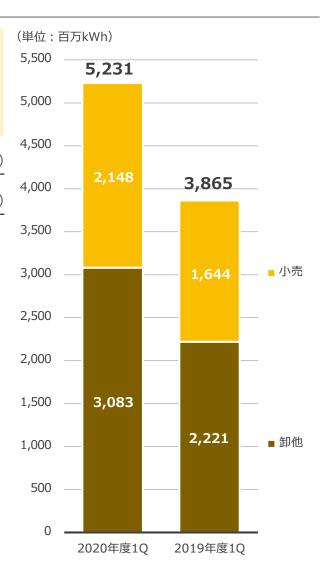
※各項目は四捨五入して表示

電力販売量



■小売 +504百万kWh(+30.6%)

■卸他 +862百万kWh(+38.8%)



※各項目は四捨五入して表示

小売件数実績 ※小売件数=電力料金請求対象件数



「キャンペーン」実施期間

2019年度

春: 2019/5/2~2019/5/31

夏: 2019/6/17~2019/10/8

秋:

2019/10/15~2019/12/23

冬:

2020/1/6~2020/4/30

2020年度

2020年6

夏: 2020/6/2~2020/7/20



2020年度1Q実績 (セグメント別) 売上高・利益

6

(単位: 億円)

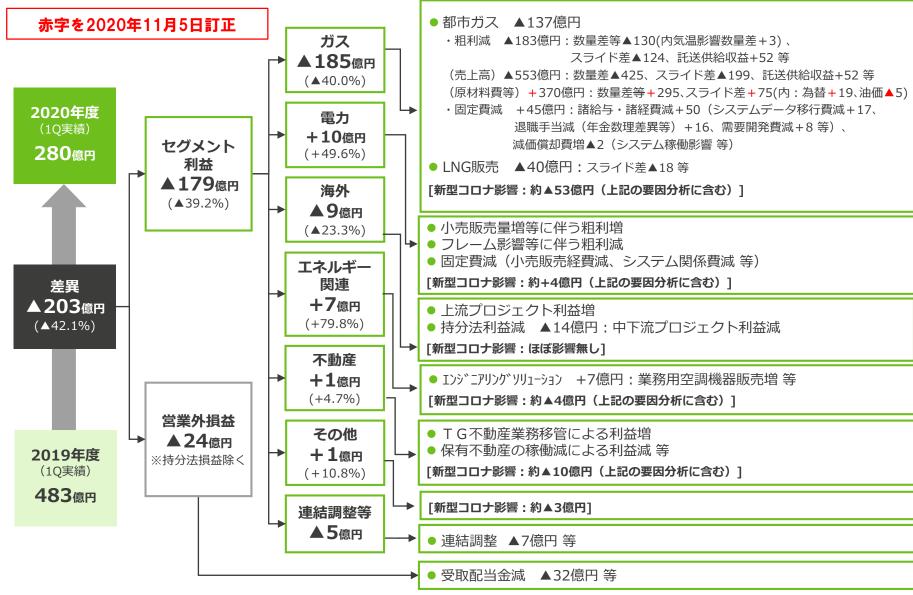
		売上高 セグメン			ント利益(営業	業利益+持分 法	損益)		
		2020年度 1Q実績	2019年度 1Q実績	増減	%	2020年度 1Q実績	2019年度 1Q実績	増減	%
ガス		2,849	3,430	▲ 581	▲ 16.9	277	462	▲185	▲ 40.0
	(都市ガス)	2,408	2,961	▲ 553	▲ 18.7	298	435	▲137	▲31.6
	(LNG販売)	361	362	^ 1	▲0.3	▲1 6	24	▲ 40	▲ 168.5
電力		891	721	170	23.5	29	19	10	49.6
海外		119	109	10	9.9	27	36	▲9	▲23.3
	(持分法損益)	_	_	_	_	1	15	▲ 14	▲91.9
エネル	ノギー関連	726	705	21	3.0	14	7	7	79.8
	(エンジニアリングソリューション)	294	268	26	9.8	2	▲ 5	7	_
不動産	€ (持分法損益含む)	111	111	▲0	▲0.4	32	31	1	4.7
その他	(持分法損益含む)	266	262	4	1.7	13	12	1	10.8
調整額		▲809	▲ 668	▲ 141	_	▲117	▲ 112	\$ 5	_
セグン	ベント合計額	4,156	4,672	▲ 516	▲ 11.0	278	457	▲ 179	▲39.2
	(持分法損益)	_	_	_	_	3	17	▲ 14	▲ 79.1

- [注]・セグメント別の売上高には事業間の内部取引を含んでおります。
 - ・「ガス」には、都市ガス、液化石油ガス、産業ガス、LNG販売を含みます。「エネルギー関連」には、エンジニアリングソリューション、ガス器具、ガス工事、 建設、クレジット等を含みます。「その他」には、情報処理サービス、船舶等を含みます。
 - ・セグメント利益の調整額の主なものは、各セグメントに配分していない全社費用です。



2020年度1Q実績 経常利益分析



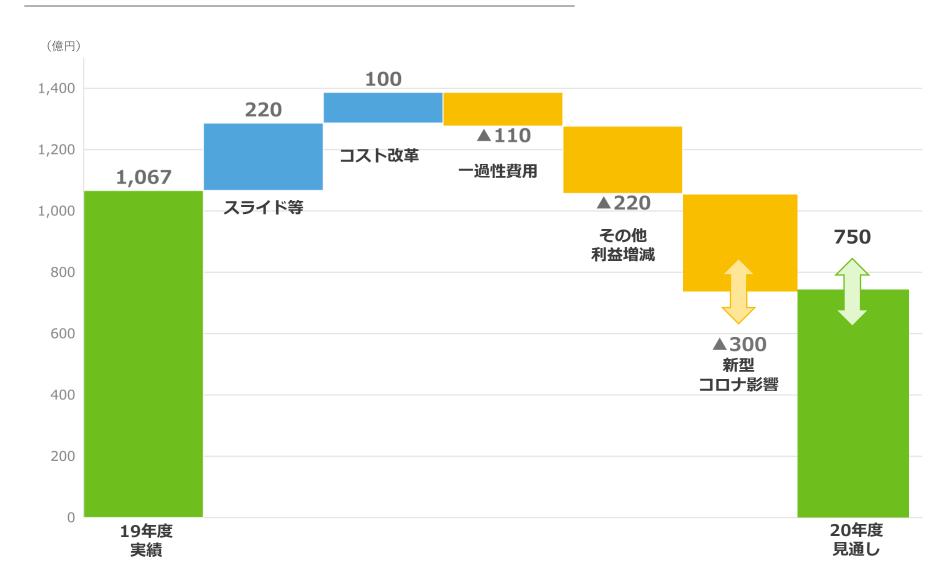




2020年度見通し(連結)(2020.4.1-2021.3.31)



前年度セグメント利益からの変化要素



(+/▲は利益に対する増減)

項目	主な内容	影響額(※1)
スライド等	(+) スライドタイムラグ (+) 都市ガス気温影響 (+) 年金数理差異	+220億円程度
コスト改革	(+) 諸経費効率化	+100億円程度
一過性費用	(▲) 基幹システムの稼働に伴うデータ移行費 (▲) 老朽化資産除却費 等	▲110億円程度
その他利益増減	 (+)電力小売販売量増 (▲)ガス需要脱落による販売量減 (▲)減価償却費増 (▲)切り拓き費用増(DX関係費用等) (▲)海外プロジェクト利益減等 	▲220億円程度
新型コロナ影響 (※2)	(▲) ガス販売量減 (▲) LNG需給調整費用 (▲) ガス以外のセグメント利益減(器具・受工・ホテル等) (+) 新型コロナ影響に伴う諸経費執行見送り・抑制等 (+) 在宅時間増加による小売電力販売量増等	▲300億円程度

^{(※1) 7}月以降の経済フレーム:原油価格45\$/bbl、為替レート110円/\$。

^(※2) 新型コロナ影響は現時点での想定にもとづく推計であり、今後大きく変動する可能性があります。



(単位: 億円)

	セグメント利益(営業利益+持分法損益)								
	見通し	見通し前年度実績		%					
ガス	885	1,024	▲139	▲ 13.6%					
電力	136	101	35	34.1%					
海外 (持分法損益含む)	24	132	▲108	▲81.9%					
エネルギー関連	132	169	▲37	▲ 22.3%					
不動産 (持分法損益含む)	56	96	▲ 40	▲ 42.3%					
その他(持分法損益含む)	13	57	▲44	▲ 77.5%					
調整額	▲496	▲ 515	19	_					
セグメント合計額	750	1,067	▲317	▲29.7%					
営業利益	730	1,015	▲285	▲28.1%					
持分法損益	20	52	▲32	▲ 61.4%					

[[]注]・「ガス」には、都市ガス、液化石油ガス、産業ガス、LNG販売を含みます。「エネルギー関連」には、エンジニアリングソリューション、ガス器具、ガス工事、 建設、クレジット等を含みます。「その他」には、情報処理サービス、船舶等を含みます。



[・]セグメント利益の調整額の主なものは、各セグメントに配分していない全社費用です。



03

参考資料

原油価格・為替レート変動の粗利影響感度(都市ガス)



原油価格JCCが\$1/bbl上昇する場合

収支影響時期

(単位: 億円)

		第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計	
変	第2四半期	1	▲ 8	+8	▲1	
動	第3四半期	_	1	▲ 9	▲10	
時	第4四半期	_	_	1	A 1	
期	通期	▲1	▲ 9	▲ 2	▲12	

円ドルレートが¥1/\$円安になる場合

収支影響時期

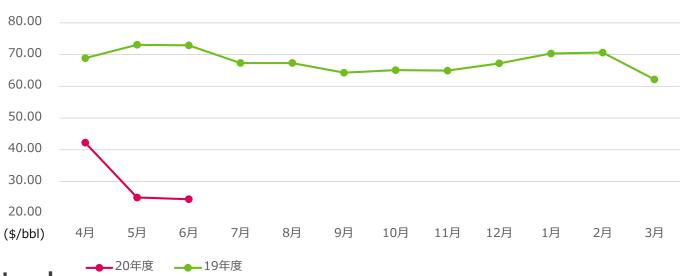
(単位: 億円)

					(1 12 1 1/2 1/2 1/2
		第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
変	第2四半期	▲ 3	+3	+2	+2
動	第3四半期	_	A 4	+5	+1
時	第4四半期	_	_	▲ 7	▲7
期	通期	▲ 3	▲1	0	▲4

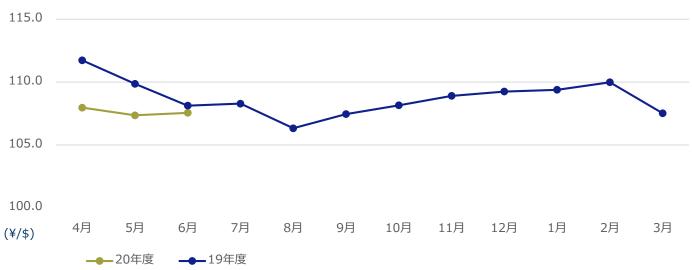
原油価格・為替レート(当期・前期)



原油価格(JCC)



為替レート



2020年度 主なトピックス (7月29日まで、プレスリリース等より抜粋)



ガス・電力 (ESG含む)

- ・太陽光発電無償提供サービス「ずっともソーラー×トヨタホーム」を開始(4/20)
- ・米国プリンシプル・パワー社への出資について ~ウインドフロート技術による浮体式洋上風力発電事業の展開に向けて~(5/27)
- ・家庭用燃料電池「エネファーム」を活用したバーチャルパワープラント実証の開始について(6/1)
- ・東京ガス初となる「FIT非化石証書を用いた実質再生可能エネルギー電気」の取扱いを開始(7/2)

サービス (ESG含む)

- ◆エンジニアリングソリューション
- ・「株式会社えきまちエナジークリエイト」の設立について(4/7)
- ・琉球エネルギーサービス合同会社の設立について(5/11)※1
- ・鹿児島市交通局跡地再開発事業「キラメキテラス」における「スマートエネルギーネットワーク」によるエネルギーサービスの開始について 〜環境にやさしく、災害に強いエネルギー面的供給の開始について〜(7/1)※1
- ・宮崎市郡医師会病院へのエネルギーサービス開始について(7/1)※1
- ◆その他
- ・東京ガスリビングエンジニアリング株式会社と東京ガスリモデリング株式会社の統合について(4/6)※2
- ・東京ガス発ベンチャー スミレナ「暮らしの月額定額制サービス」を開始 ~スタートアップを中心とした企業4社と連携した「Rest HOME」キャンペーンを実施~(6/17)※3
- ・~JR田町駅東口直結の大規模複合開発が完成~ msb Tamachi(ムスブ田町)田町ステーションタワーNの竣工について(7/15)※4

海外 (ESG含む)

- ・米国における子会社の設立および大規模太陽光発電事業の取得について(7/29)
- ・米国ルイジアナ州における新たなガス田の権益の取得に伴う持分法適用関連会社(キャッスルトン・リソーシズ社)の連結子会社化について(7/29)

ESG

- ・緊急事態宣言を踏まえた東京ガスグループの当面の取り組みについて(4/7)
- ・2020年 新型コロナウイルス感染拡大に伴うお客さまに対するガスならびに電気料金の特別措置の追加対応について(4/24)
- ・2020年 新型コロナウイルス感染拡大に伴うお客さまに対するガスならびに電気料金の特別措置の追加対応について(5/13)
- ・2020年 新型コロナウイルス感染拡大に伴うお客さまに対するガスならびに電気料金の特別措置の追加対応について(6/24)
- ・栃木県との「災害時における相互協力に関する基本協定」の締結について(7/3)
- ・2020年 新型コロナウイルス感染拡大に伴うお客さまに対するガスならびに電気料金の特別措置の追加対応について(7/20)

財務・ 株主還元

- ・特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ(4/23)
- ・第58回、第59回、第60回、第61回無担保社債発行のお知らせ(5/22)
- ※1 東京ガスエンジニアリングソリューションズによるリリース
- ※2 東京ガスリビングエンジニアリングと東京ガスリモデリングによるリリース
- ※3 スミレナによるリリース
- ※4 東京ガス不動産によるリリース



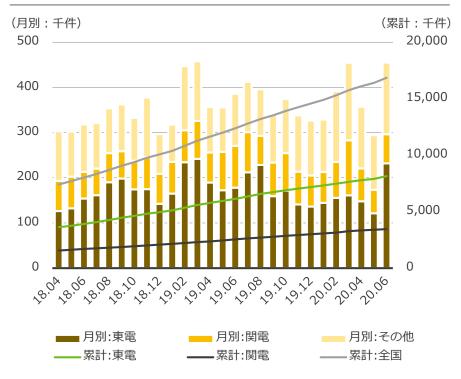
海外プロジェクト

			4.5		2	
地域 ————————————————————————————————————	番号	国名	案件名称	投資分野 <i>/</i>	/投資内容	参加年
			バーネット	上流	シェールガス	2013
		米国	イーグルフォード	上流	シェールガス	2016
	1		東テキサス	上流	シェールガス	2017
北米	U		T G E Sアメリカ	中下流	エネルギーサービス	2015
			バーズボロー	中下流	天然ガス発電	2017
			アカリオベンチャーズ	その他	オープンイノベーション	2017
			バヒオ	中下流	天然ガス発電	2004
	2	メキシコ	MTファルコン	中下流	天然ガス発電	2010
			エオリオス・エンテーへー	中下流	再生可能エネルギー開発事業	2019
	3	マレーシア	ガスマレーシア	下流	都市ガス	1992
			ガスマレーシアエネルギーアドバンス	中下流	エネルギーサービス	2014
	_		バンボー	中下流	天然ガス発電	2016
東南アジア	4	タイ	ガルフ・ダブルエイチエー・エムティー	中下流	ガス配給	2018
			ワン・バンコク	中下流	地域冷房・配電事業	2020
		ベトナム	ペトロベトナムガス販売	中下流	導管・CNG供給	2017
	6	インドネシア	パンジ・ラヤ・アラミンド	中下流	ガス配給・輸送	2017
			ダーウィン	上流	天然ガス生産・液化・販売	2003
			プルート	上流	天然ガス生産・液化・販売	2008
オセアニア	7	オーストラリア	ゴーゴン	上流	天然ガス生産・液化・販売	2009
			クイーンズランド・カーティス	上流	天然ガス生産・液化・販売	2011
			イクシス	上流	天然ガス生産・液化・販売	2012

スイッチング件数の推移(公表値) / 小売お客さま件数

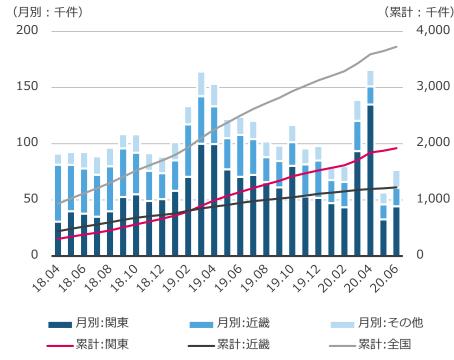


電力のスイッチング件数 (申込みベース)



※電力広域的運営推進機関の公表値に基づく

都市ガスのスイッチング件数 (申込みベース)



※資源エネルギー庁の公表値に基づく

当社 (連結) 都市ガス 小売お客さま件数 (万件)

小売全面自由化 (2017.4)

	2017.3	2017.6	2017.9	2017.12	2018.3	2018.6	2018.9	2018.12	2019.3	2019.6	2019.9	2019.12	2020.03	2020.06
件数 (増減)	•													904.4 (▲8.5)

TOKYO GAS

<見通しに関する注意事項>

このプレゼンテーションに掲載されている東京ガスの現在の計画、見通し、戦略、その他の歴 史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から 得られた東京ガスの経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、さまざまな要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、日本経済の動向、原油価格の動向、気温の変動、円ドルの為替レート変動、ならびに急速な技術革新と規制緩和の進展への東京ガスの対応等があります。